

へき地町村公立医療機関における広域災害救急医療情報システム（EMIS）の導入について

1 導入の経緯

令和元年9月から10月にかけて、大型の台風による自然災害が相次ぎ、各へき地町村においても被害が発生した。都では、へき地町村公立医療機関に対し、個別に被害状況等について情報収集を行ったが、一部町村からは、「災害対応よりも、関係機関からの問合せ等に時間を取られた」との声もあった。

災害時において、へき地町村公立医療機関の被災状況等は、各町村の医療提供体制に重大な影響を持つことから、近年の大規模化、多様化する災害への対応について、関係機関間の情報共有をより円滑に行い、迅速かつ適切な支援につなげる仕組みが必要である。

2 導入医療機関

大島町	大島医療センター
利島村	利島村国民健康保険診療所
新島村	新島村国民健康保険本村診療所
	新島村国民健康保険式根島診療所
神津島村	神津島村国民健康保険直営診療所
三宅村	三宅村国民健康保険直営中央診療所
御蔵島村	御蔵島村国民健康保険直営御蔵島診療所
青ヶ島村	青ヶ島村国民健康保険青ヶ島診療所
小笠原村	小笠原村診療所
	小笠原村母島診療所
檜原村	檜原村国民健康保険檜原診療所

※ 国民健康保険町立八丈病院及び奥多摩町国民健康保険奥多摩病院は、導入済み

3 導入時期

令和2年1月

4 広域災害救急医療情報システム（EMIS）の概要

資料7-2「広域災害救急医療情報システム（EMIS）について」のとおり